

◆ 第2回沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

<p>会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第1回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議の概要</li> <li>(2) 中心市街地まちづくり戦略の検討に関するこれまでの取組</li> <li>(3) 公共空間再編について</li> <li>(4) 今後について</li> </ol> </li> <li>4 意見交換</li> <li>5 閉会</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>委員の主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「交通体系の方向性」において、物の交通に対する考え方が欠けているため、駅周辺に形成される環状道路の内側へ物を運ぶ動線について検討する必要がある。</li> <li>● 交通体系全体でどのような姿を描くのか、自動車交通と公共交通の比率をどのようにしていくのか想像し、検討することが重要。各種の交通は相互に関連しており、何かを増やすと何かが減る構造となっているので、十分注意して検討すること。</li> <li>● 「交通結節機能の拡充」において、検討範囲として北・南口駅前広場と公園が示されているが、高架下の使い方により、駅前広場やその周辺部の設えも変わるため、総合的にどのような空間にするのか、今後検討していく必要がある。</li> <li>● より具体的なものを示していかないと議論が深まっていけない。まず、イメージ図を描き、定量的にデータを確認しながら、意見聴取を繰り返し行うことと、空間を使う社会実験により担い手を発掘していくことの両輪で進めていく必要がある。</li> <li>● 公共空間再編の方向性と交通体系の方向性は十分に検討されているのでよいと思うが、今後の検討においては、公共空間に隣接する建物利用の方向性について、あわせて検討した方がよい。</li> <li>● トランジットモール化し道路空間を再編するときには、沿道の店舗等がどのようなサービスを提供するかにより、ストリートの性格が決まるため、現状の建物状況やリノベーションまちづくり等による新しい動きを踏まえ、検討したらよい。</li> <li>● 沼津港の入込客数は右肩上がり伸びているが、どのような人が訪れ、交通手段は何かなどを把握し、状況をしっかりと理解しておく必要がある。</li> </ul>